

---

# Multi LABELIST V5 Plus

## 操作ガイド

株式会社サトー

2022年8月1日

---

## はじめに

この度は、「Multi LABELIST V5 Plus」（以下 MLV5）をお求めいただきありがとうございます。Multi LABELIST V5 Plus は、様々なラベル・タグを作成・発行出来るアプリケーションです。

本マニュアルでは MLV5 をご理解いただくために ML デザインの様々な利用方法を説明しております。

## ご注意

- 本ソフトウェアの著作権は、株式会社サトーにあります。
  - 本ソフトウェアおよび本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
  - 本ソフトウェアおよび本マニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
  - 本ソフトウェアおよび本マニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
  - 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
  - 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 
- SATO、Multi LABELIST は、サトーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。
  - Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
  - Adobe、Adobe Reader は、アドビシステム社の登録商標です。
  - その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

# 目次

はじめに.....	2
ご注意.....	2
目次.....	3
第1章 製品情報.....	4
1-1.必要なハードウェア・ソフトウェア.....	5
■パソコン.....	5
■プリンタ.....	5
第2章 操作方法.....	6
2-1.カラープリンタを利用する.....	7
■カラープリンタを利用する.....	7
■基本設定を行う.....	10
■デザイン画面を知る.....	12
2-2.カラー対応機能を利用する.....	13
■オブジェクトの色を設定する.....	13
■発行時にオブジェクトの色を指定する.....	17
■カラーグラフィックを利用する.....	21
2-3.GHS612Rのカット動作を利用する.....	25
■枚数を指定してカットする.....	25
■発行指示毎にカットする.....	26
■行毎にカットする.....	29
2-4.同一ラベルの発行を印刷部数で速くする.....	32
■印刷部数機能を利用する.....	32
2-5.注意事項.....	34
■発行時のプリンタ機種変更.....	34

## 第1章

# 製品情報

**1-1****必要なハードウェア・ソフトウェア**

■ハードウェア ■ソフトウェア

Multi LABELIST V5 Plus をご使用いただくには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。

**■パソコン**

対応 OS	Windows 11* (64bit**) Windows 10* (32bit/64bit**), Windows 8.1* (32bit/64bit**) Windows 8* (32bit/64bit**), Windows 7 (32bit/64bit**) Windows Server 2022 (64bit**) Windows Server 2019 (64bit**) Windows Server 2016 (64bit**) Windows Server 2012 R2 (64bit**) Windows Server 2012 (64bit**) Windows Server 2008 R2 (64bit**) Windows Server 2008 (32bit/64bit**) *デスクトップアプリとして動作します。 **64bit 版の OS は WOW64(Windows On Windows 64)での動作です。
CPU	2GHz 以上 (デュアルコア以上推奨)
必要メモリ	512MB 以上 (1GB 以上推奨)
ハードディスク	空き容量 1.0GB 以上 (32bit)    2.2GB 以上 (64bit)
画面解像度	XGA (1024x768) 以上

**■プリンタ**

サトー	GHS612R
ネットアンドプリント	LP-812W、NP-ODL8Ⅱ
ダイオーポスタルケミカル	NPC-122W、NPC-122X
フェニックス	PX509α、PX509
キャノンマーケティングジャパン	LX-D5500、LX-P5500、LX-760、LX-760RF、LX-P1500
エプソン販売	CW-C4020 シリーズ、CW-C6500 シリーズ、 CW-C6000 シリーズ、GP-C831、TM-C7500、 TM-C3500、TM-C3400
カシオ計算機	GE5000-YPOS、N6100、V2500 RPCS
日本エレクトロニクス工業	JP621-LC、JP635-LC、JP600-LC
沖電気工業	Pro1040、Pro1050

## 第2章

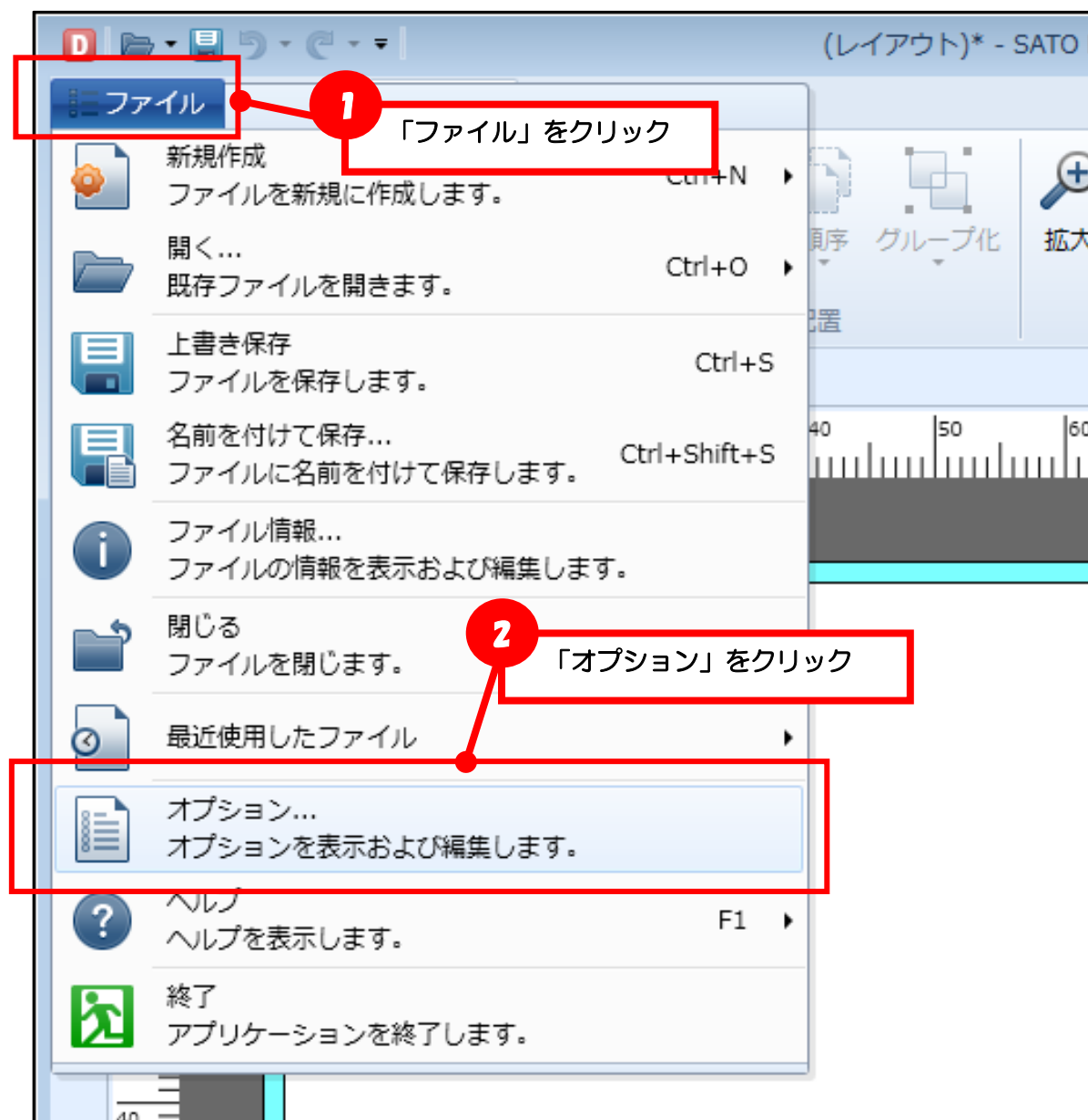
# 操作方法

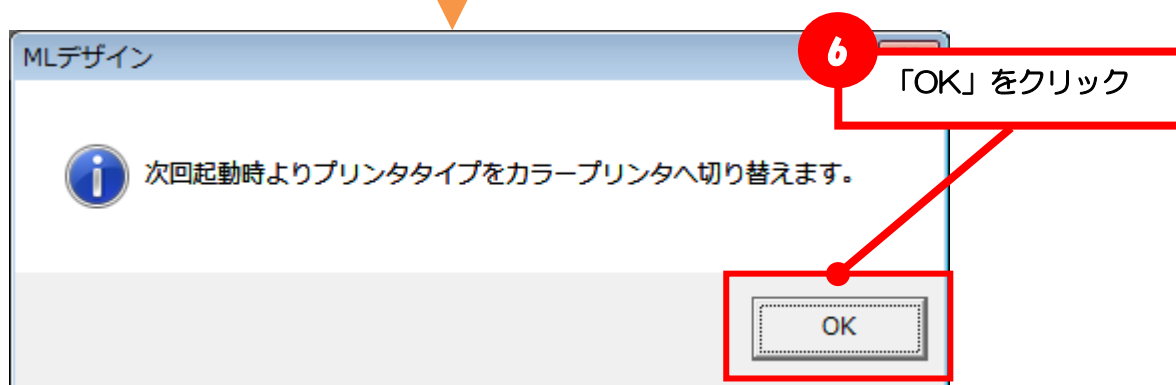
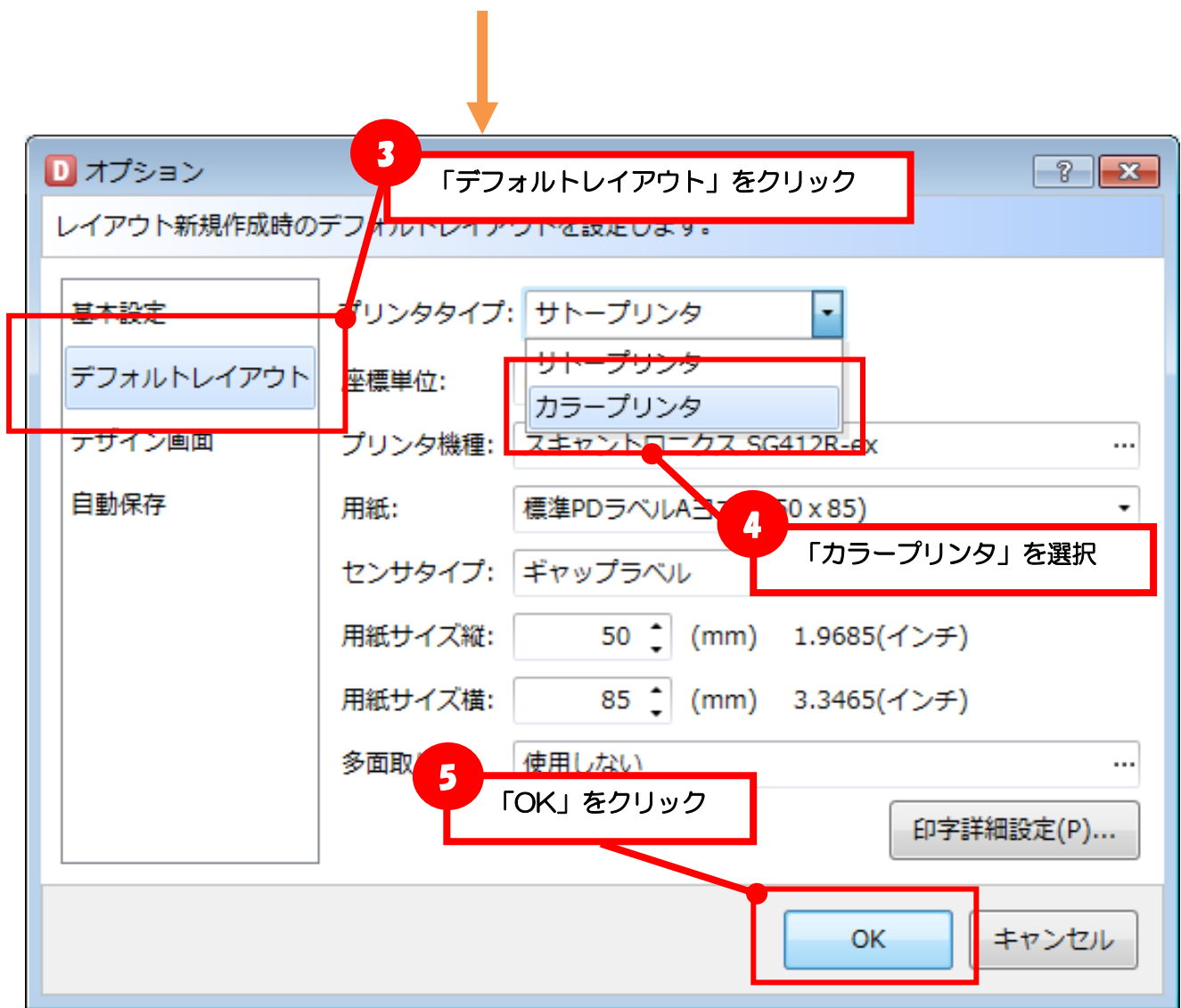
**2-1****カラープリンタを利用する**

■カラープリンタ ■基本設定 ■プリンタ設定 ■デザイン画面

**■カラープリンタを利用する**

Multi LABELIST V5 Plus を新規でインストールした場合は、デフォルトでカラープリンタを利用できます。プリンタタイプが「カラープリンタ」の場合は変更する必要はありません。









#### 【確認】プリンタ機種

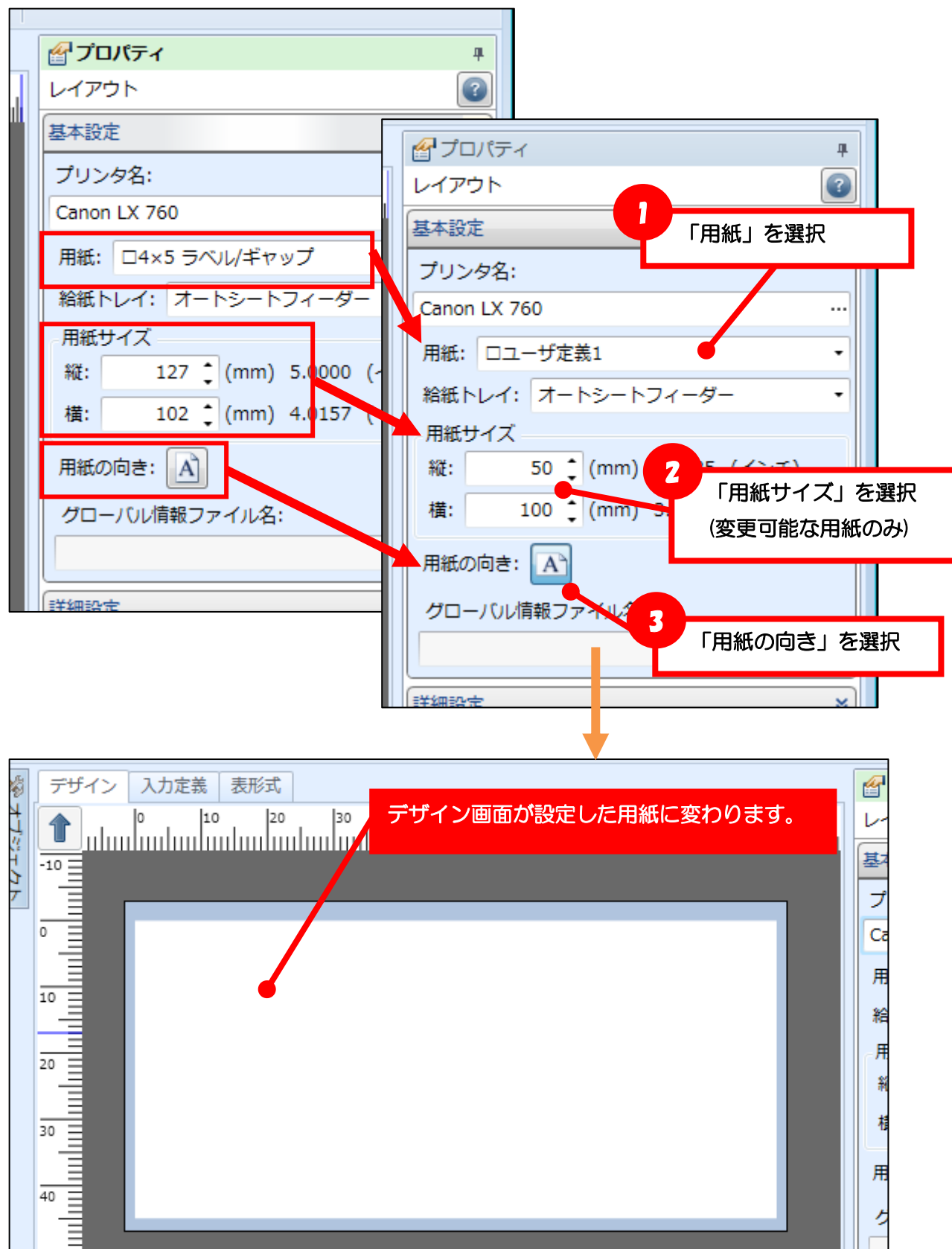
ML デザインで選択できるプリンタは、以下の条件を満たしている必要があります。  
条件を満たしていない機種は、プリンタ選択の一覧に表示されません。

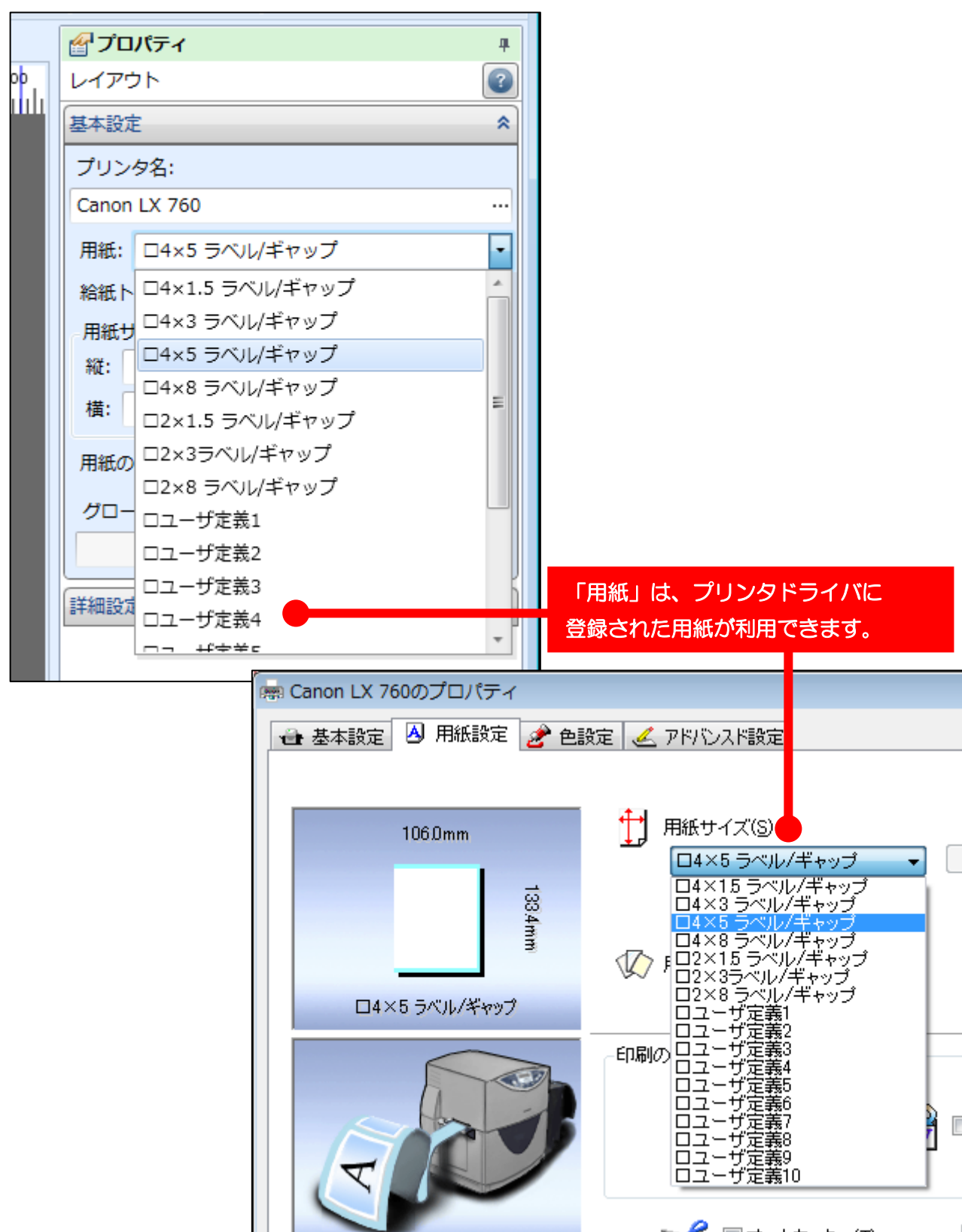
- ①対応プリンタ機種
- ②プリンタドライバが正しくインストールされている

## ■基本設定を行う

頻繁に利用する用紙は、事前にプリンタドライバのプロパティから用紙登録を行ってください。  
レイアウト作成時は、サイズ変更可能な用紙\*を選択した場合のみサイズが設定できます。

\*「ユーザ定義」や「カスタムサイズ」など用紙の名称はプリンタドライバ毎に異なります。





## ■デザイン画面を知る

### ・デザインウィンドウ



### ・オブジェクトの表示

種類	プリンタタイプ	
	サトープリンタ	カラープリンタ
エラーオブジェクト		
非印字オブジェクト		
グローバル変数オブジェクト		
通常のオブジェクト		

## 2-2

## カラー対応機能を利用する

■オブジェクト色指定 ■カラーグラフィック

## ■オブジェクトの色を設定する



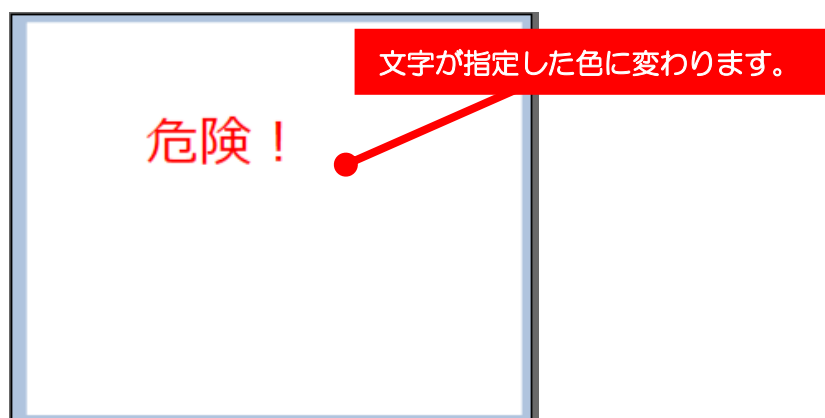
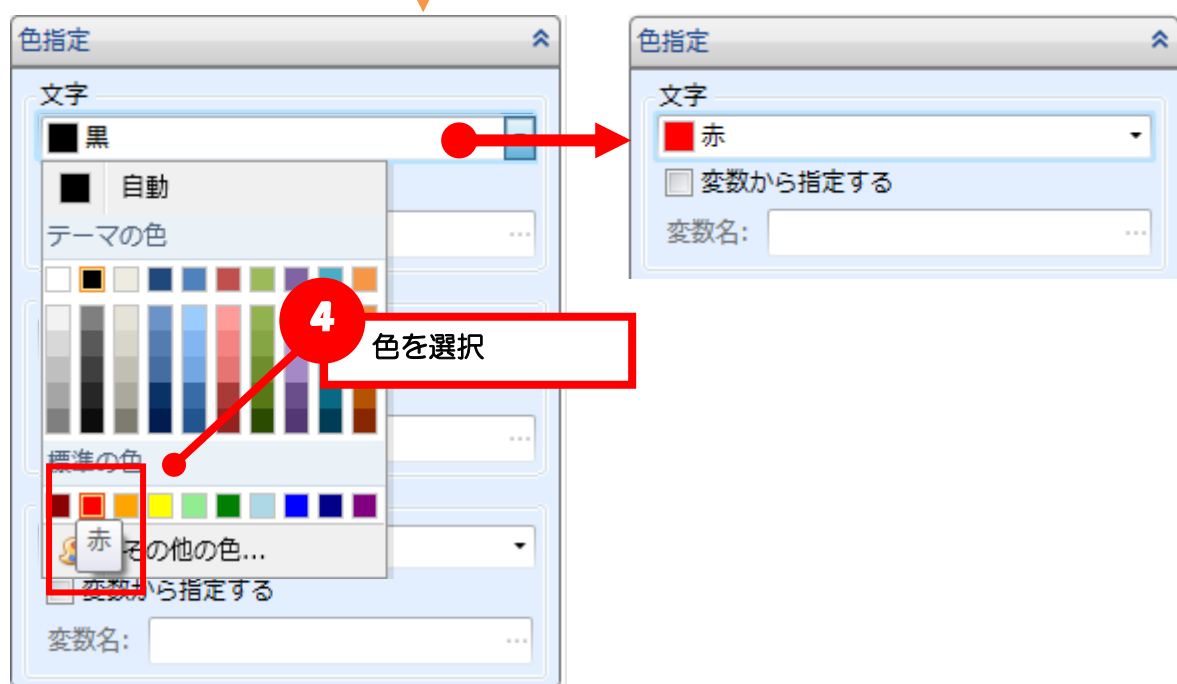
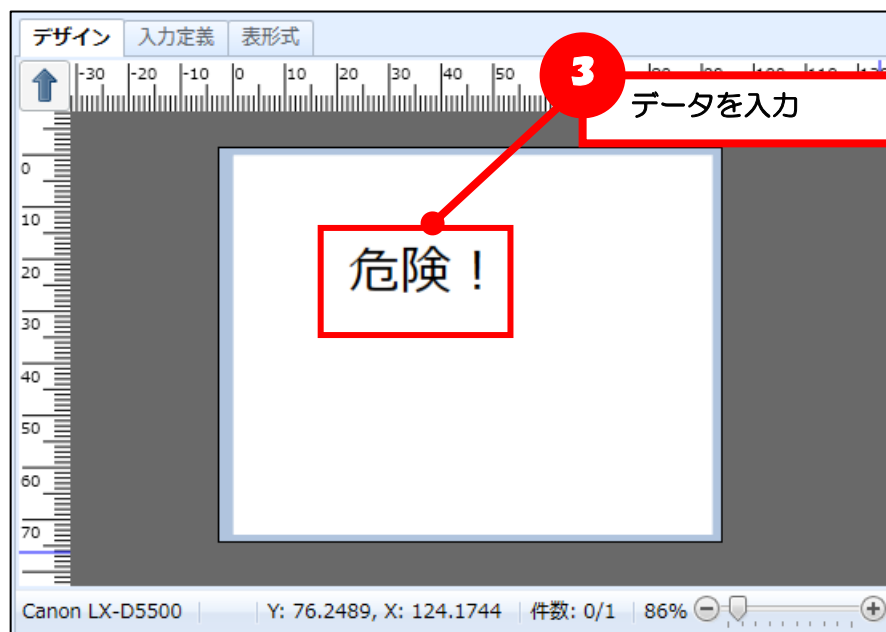
1

文字オブジェクトをクリック

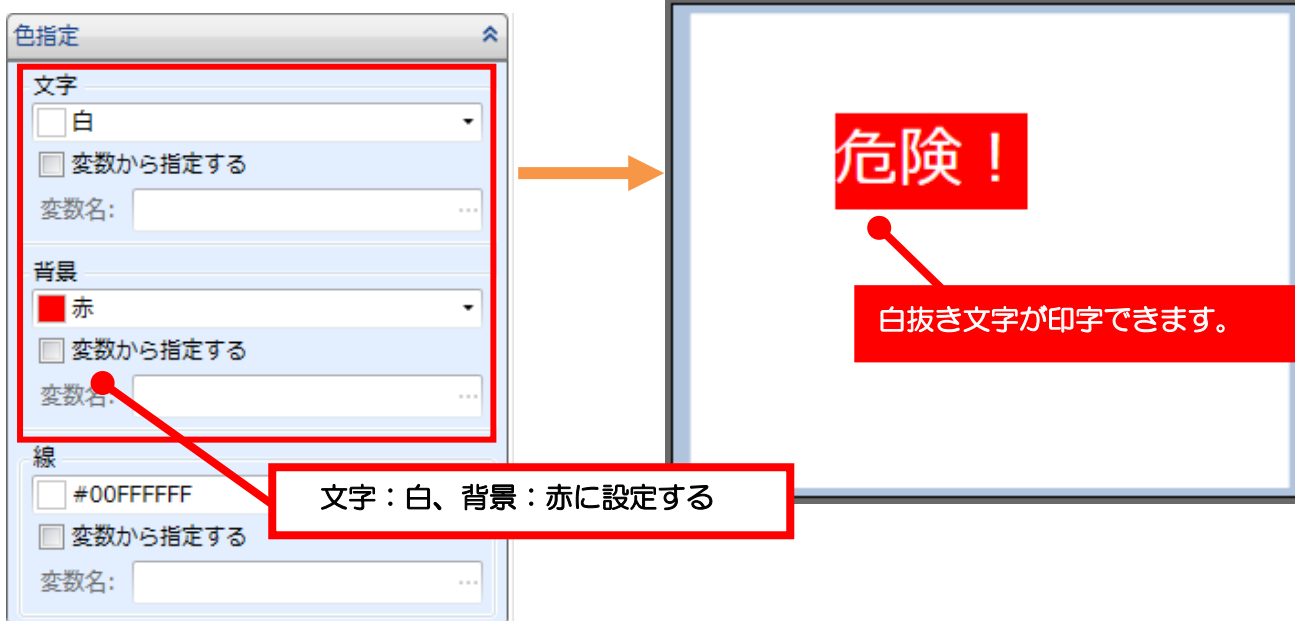


2

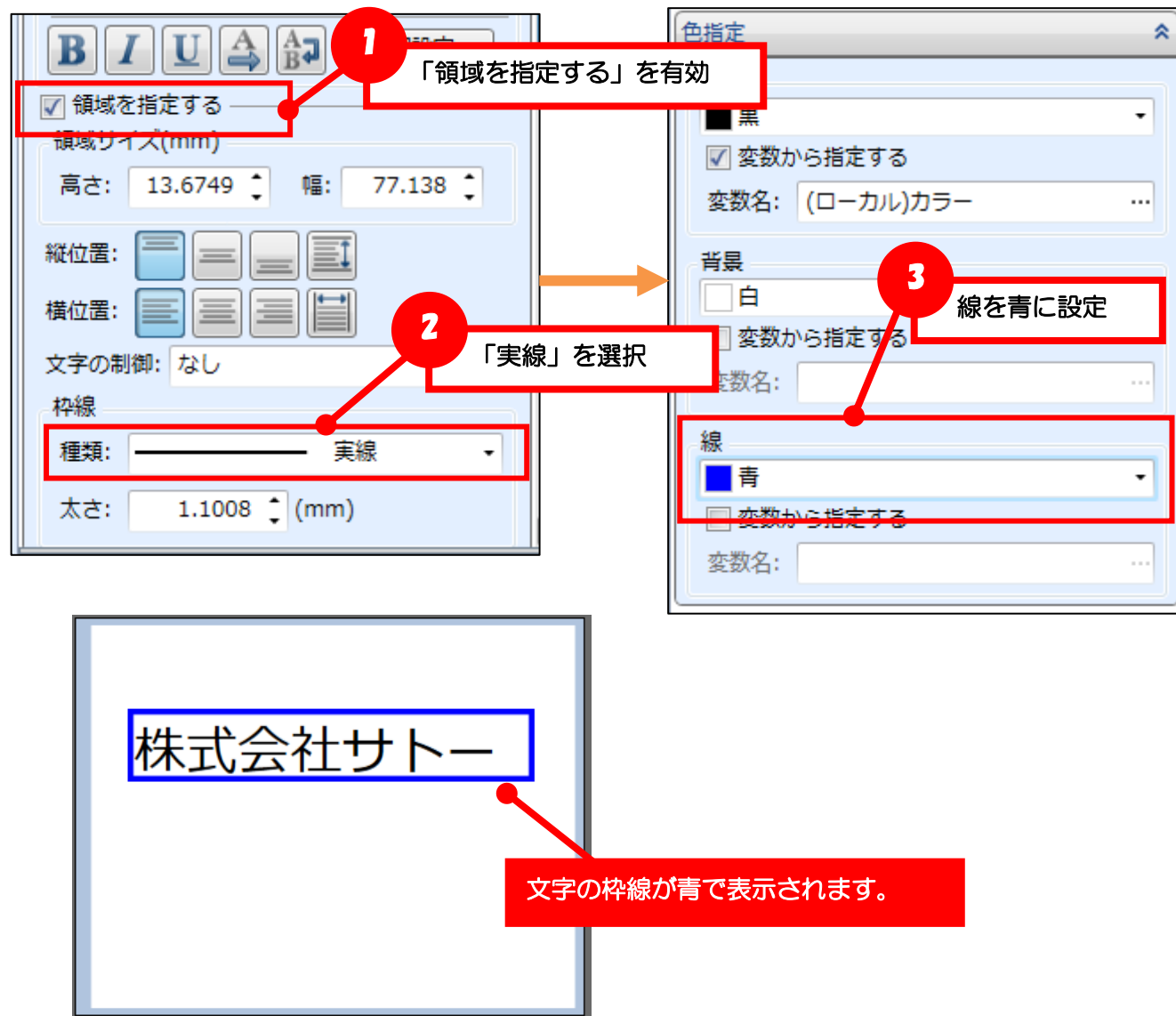
デザイン画面上に配置



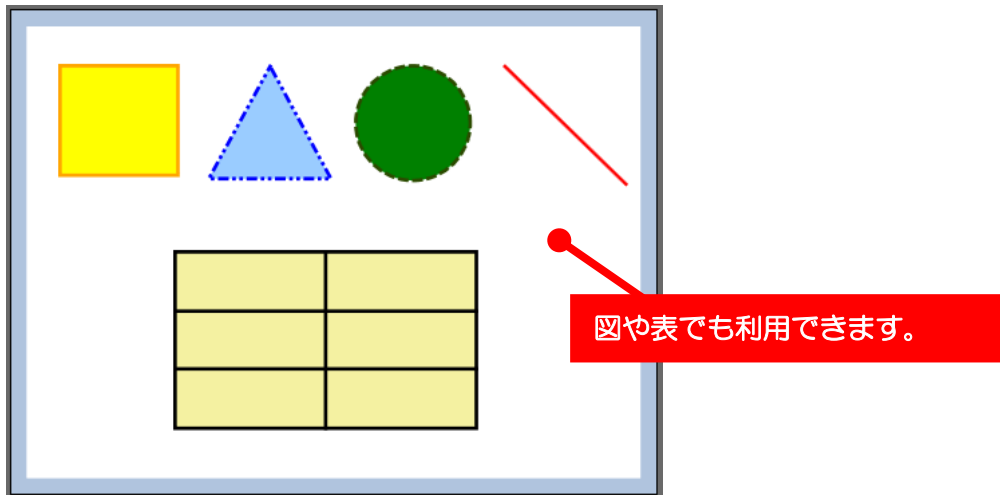
## ・文字を白抜きで印字



## ・文字の枠線を印字

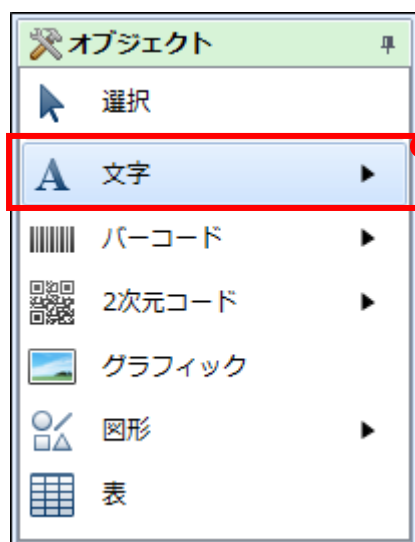


• 文字以外の色設定



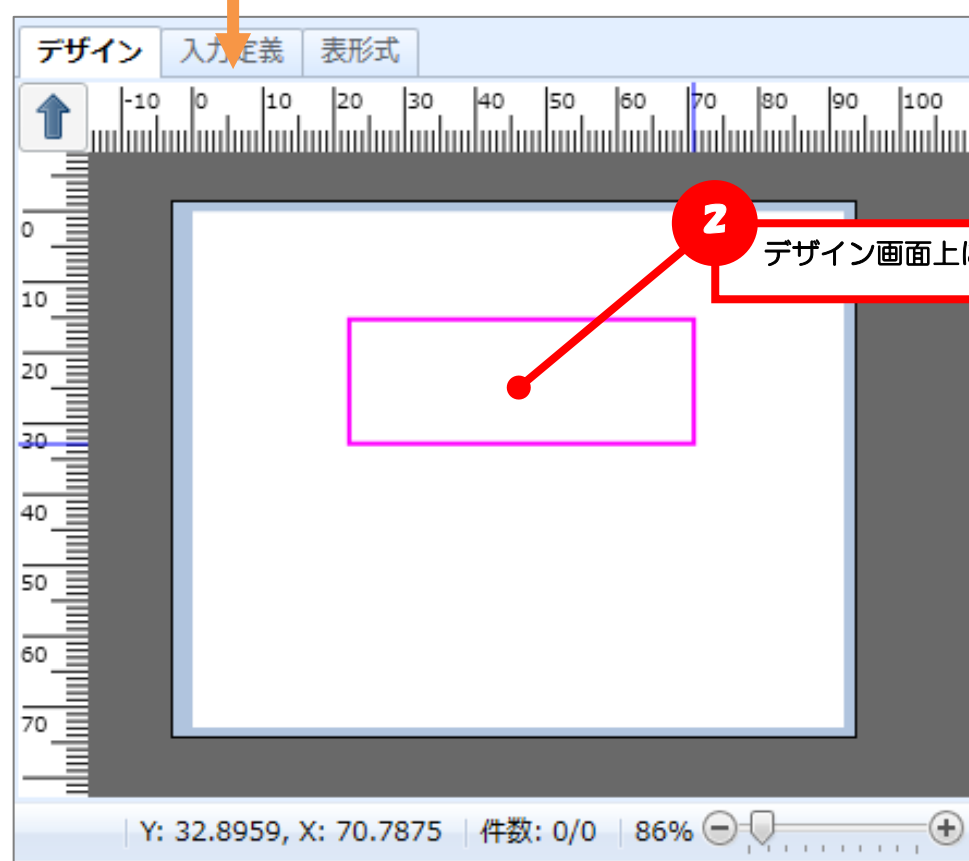


## ■発行時にオブジェクトの色を指定する



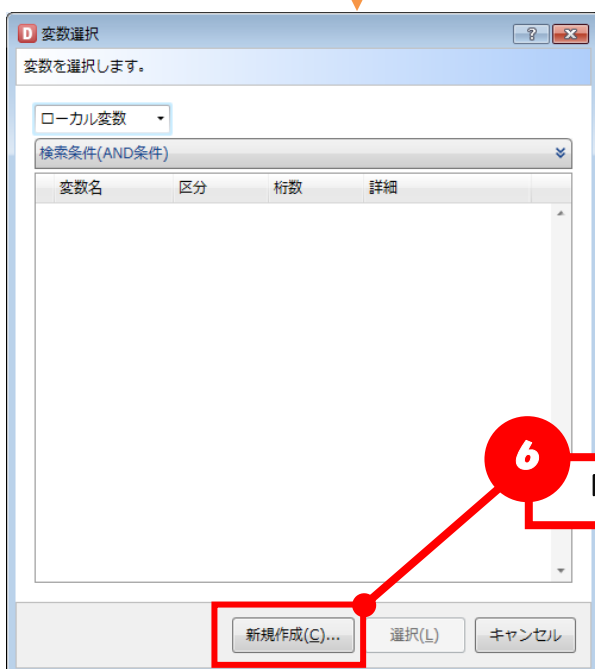
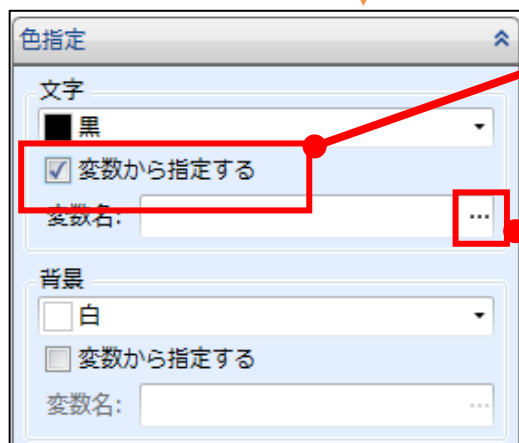
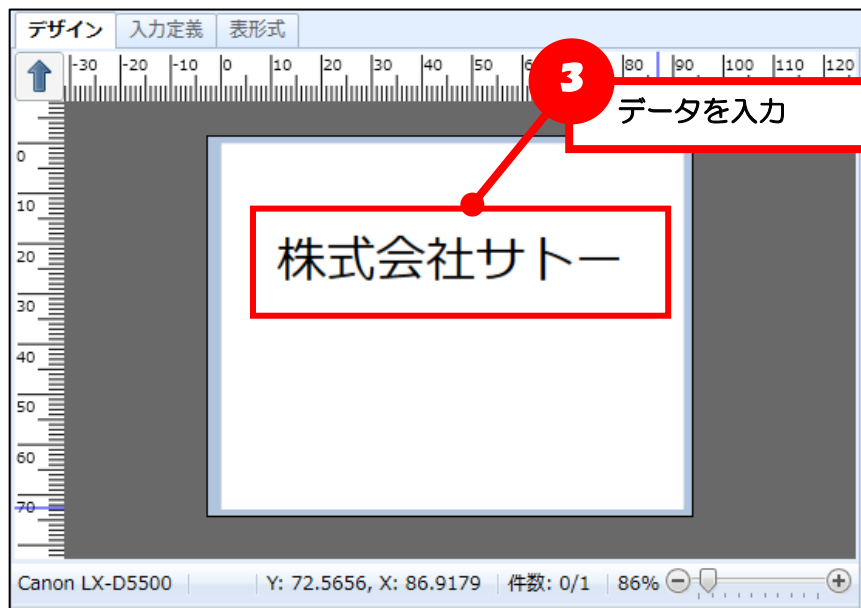
1

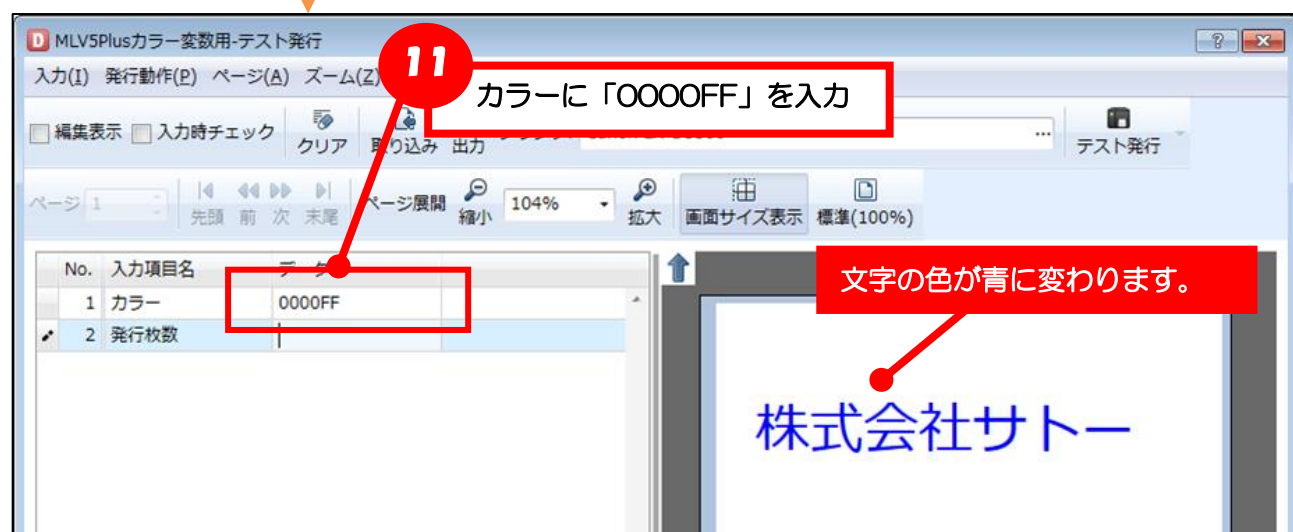
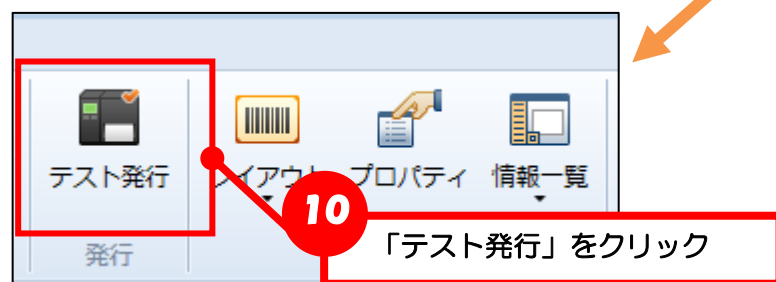
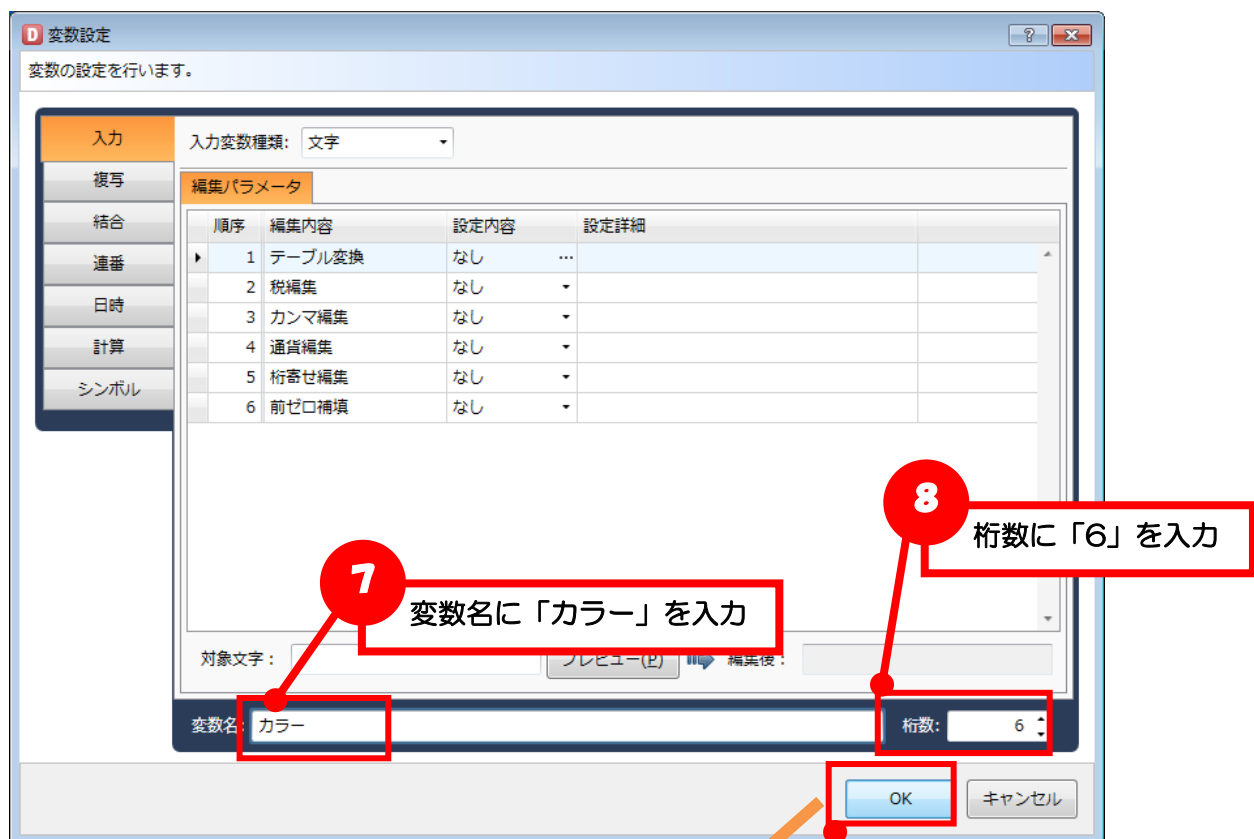
文字オブジェクトをクリック



2

デザイン画面上に配置





## 【確認】色の指定

発行時に入力する色は 16 進数カラーコード（ARGB 値）またはカラーネームで指定します。

16 進数カラーコードは以下の書式で入力します。







A R G B （A：透明度 R：赤 G：緑 B：青）

入力桁	書式	入力例	色
3 桁	rgb	00F (⇒0000FF)	
4 桁	argb	5F00 (⇒55FF0000)	
6 桁	rrggbb	569012	
8 桁	aarrggbb	80569012	

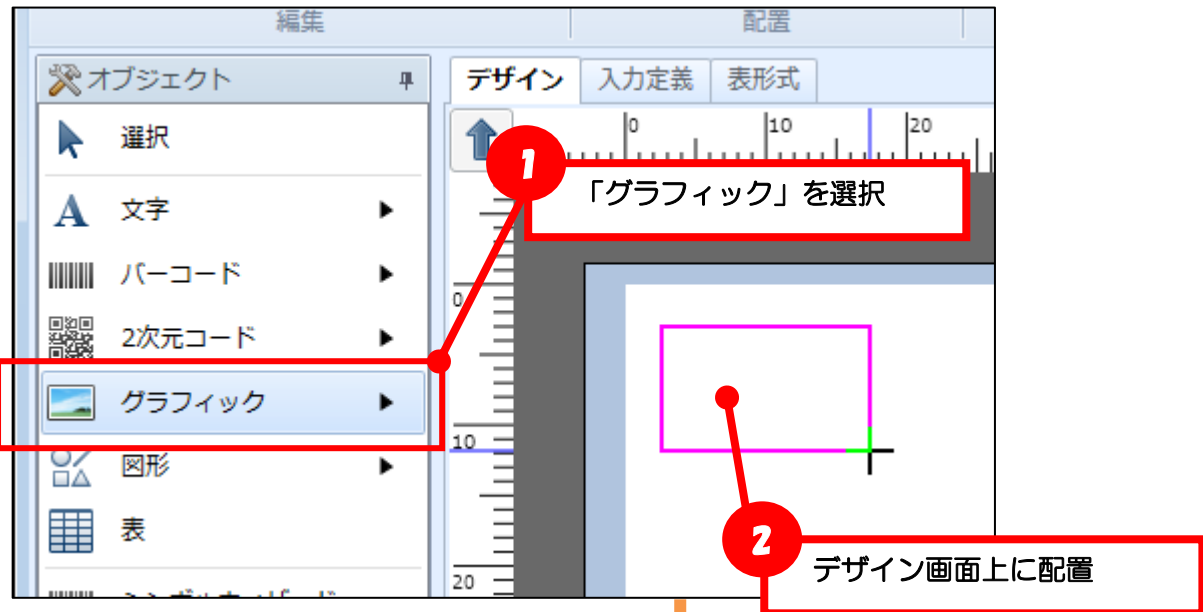
カラーネームは、Windows Presentation Foundation で定義されている色名が使用可能です。

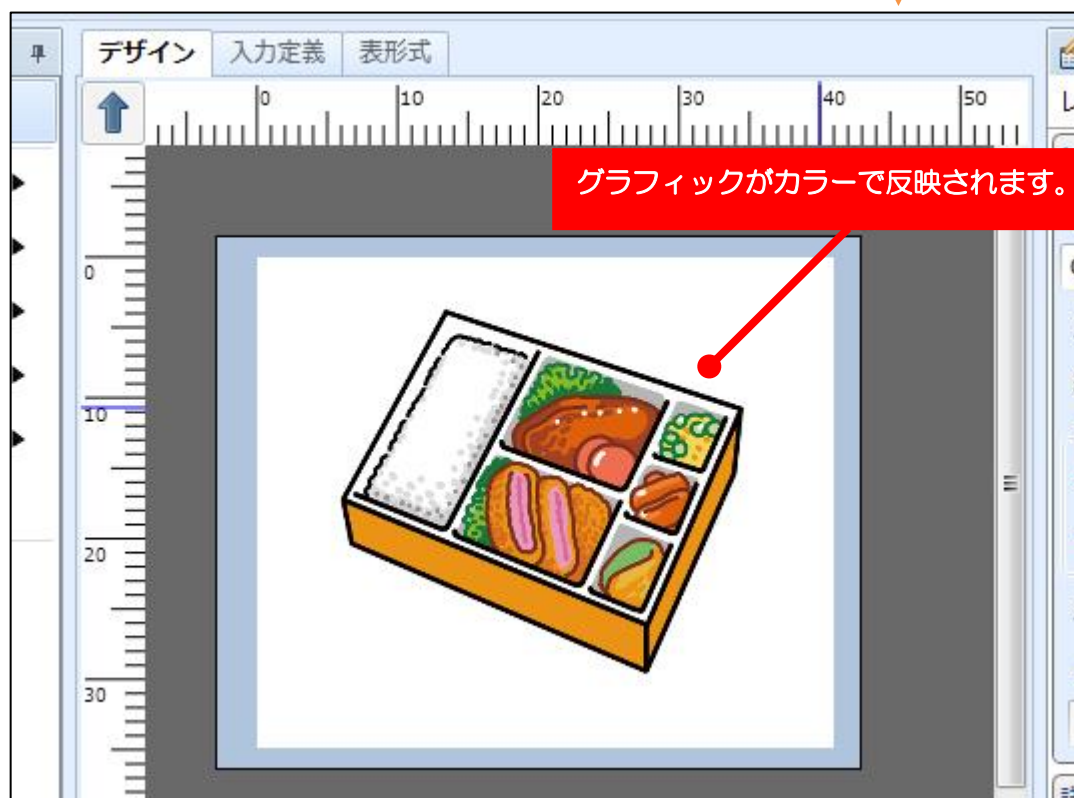
[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/system.windows.media.colors\(v=vs.100\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/system.windows.media.colors(v=vs.100).aspx)

### 色の指定例

カラーコード		カラーネーム	イメージ
6 桁	3 桁		
FF0000	FOO	red	
FF8000	—	—	
FFFF00	FFO	yellow	
009900	090	—	
0000CC	00C	—	
6600CC	60C	—	

## ■カラーグラフィックを利用する



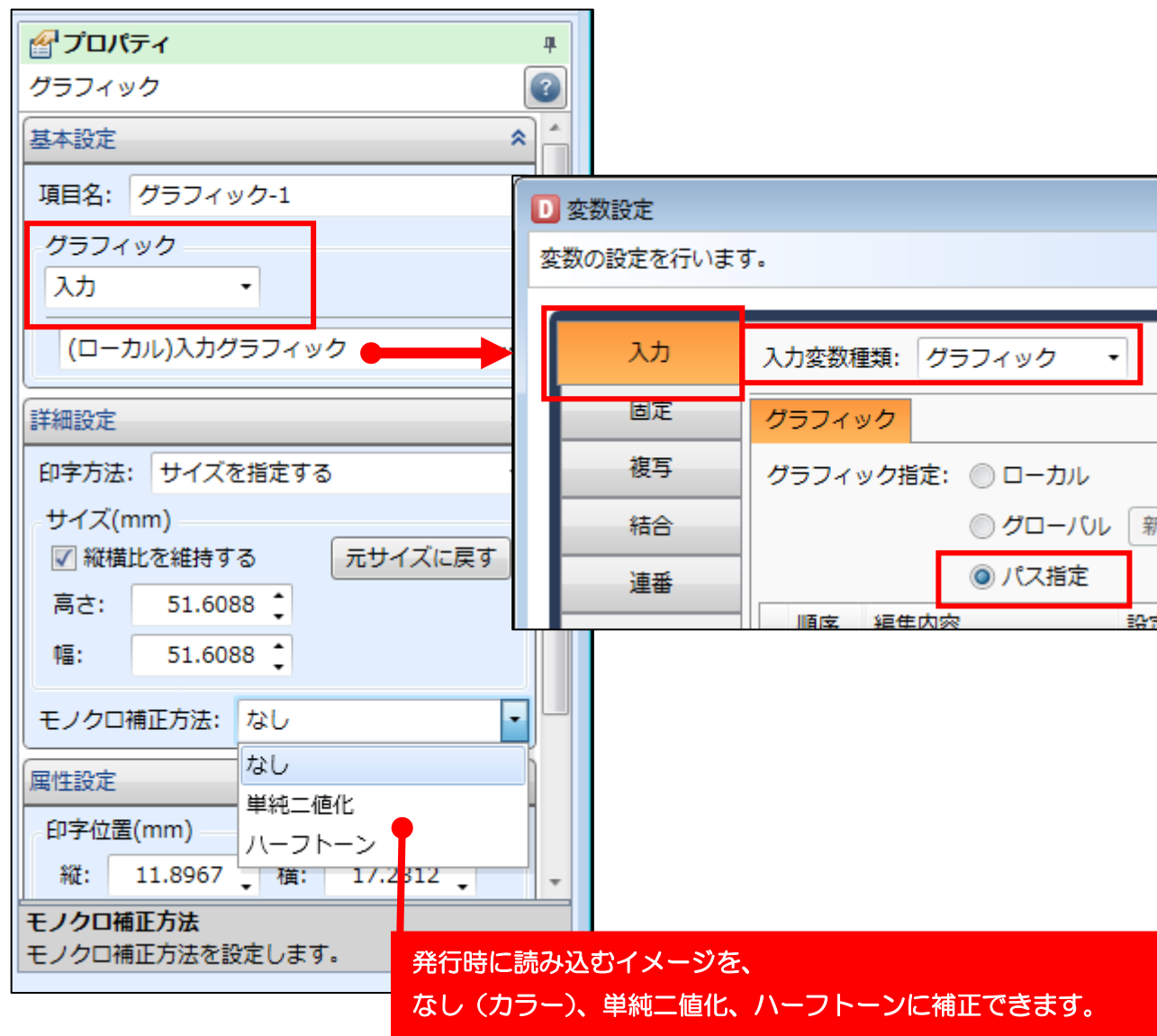


#### ・イメージ補正



### ・モノクロ補正方法

グラフィックオブジェクトで「パス指定」に設定した入力変数のグラフィックを選択すると、プロパティウィンドウで「モノクロ補正方法」が選択できます。



### ・GHS612R の注意事項

GHS612R は、赤と黒の印字を設定ツールで設定した色情報を閾値として判断するため、レイアウトに取り込むグラフィックは色情報が明確になるように作成してください。

#### 設定ツールの抽出カラー設定

抽出カラー設定

印字ブロック1印字条件

R 0 ~ 99

G 0 ~ 255

B 0 ~ 255

印字ブロック2印字条件

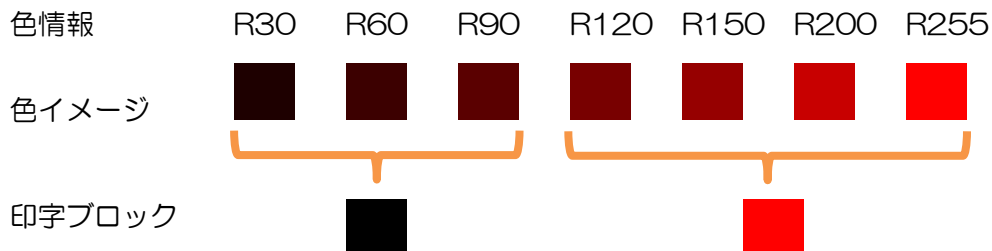
R 100 ~ 255

G 0 ~ 150

B 0 ~ 150

保存 閉じる

上記の設定では、RGB の R（赤）が 0~99 の場合は印字ブロック 1、R（赤）が 100~255 の場合は印字ブロック 2 に装着されたりボンで印字されます。





## 2-3

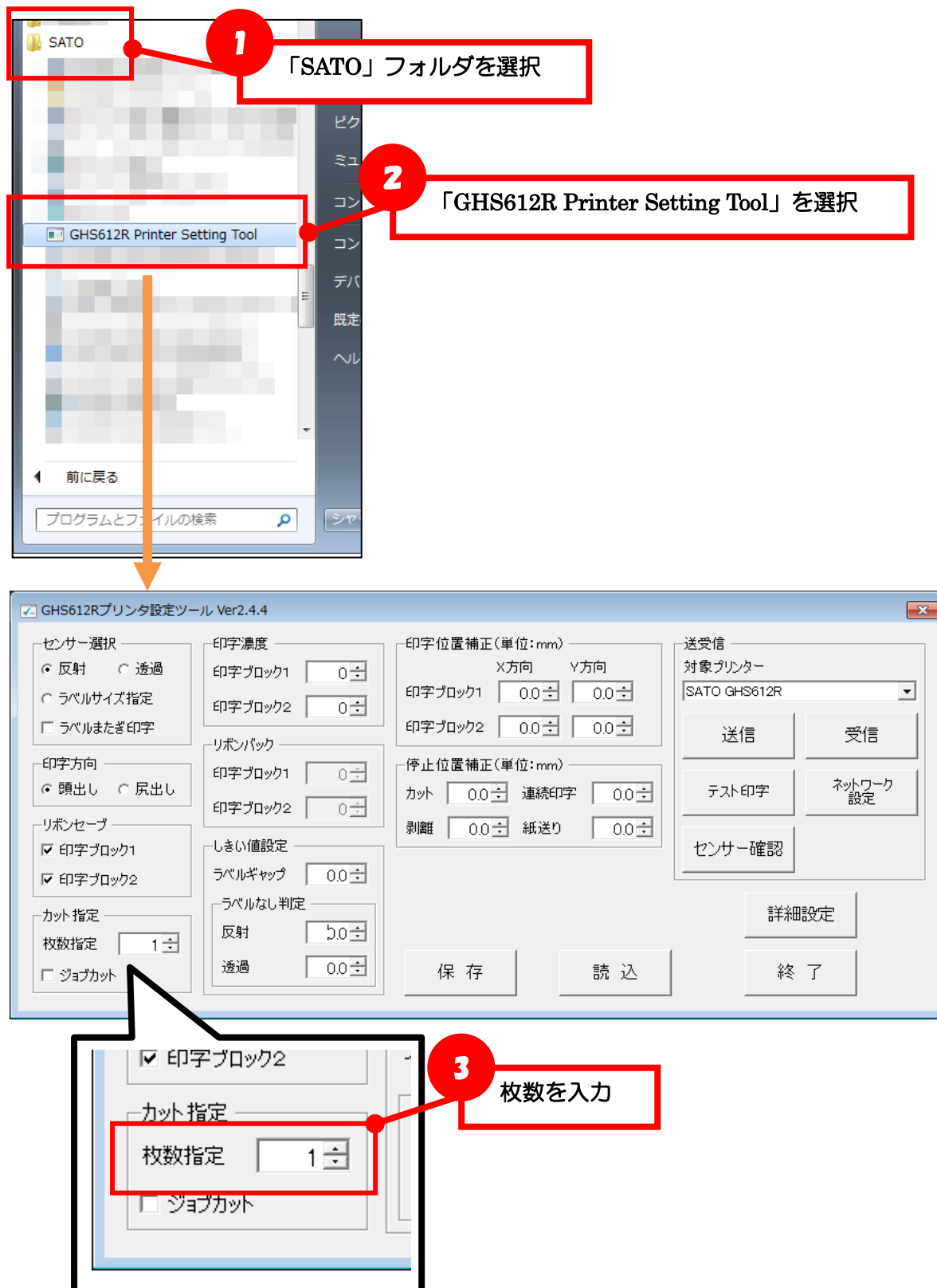
## GHS612R のカット動作を利用する

■枚数指定カット ■ジョブカット

## ■枚数を指定してカットする

カット枚数の指定は、プリンタ設定ツールで行います。

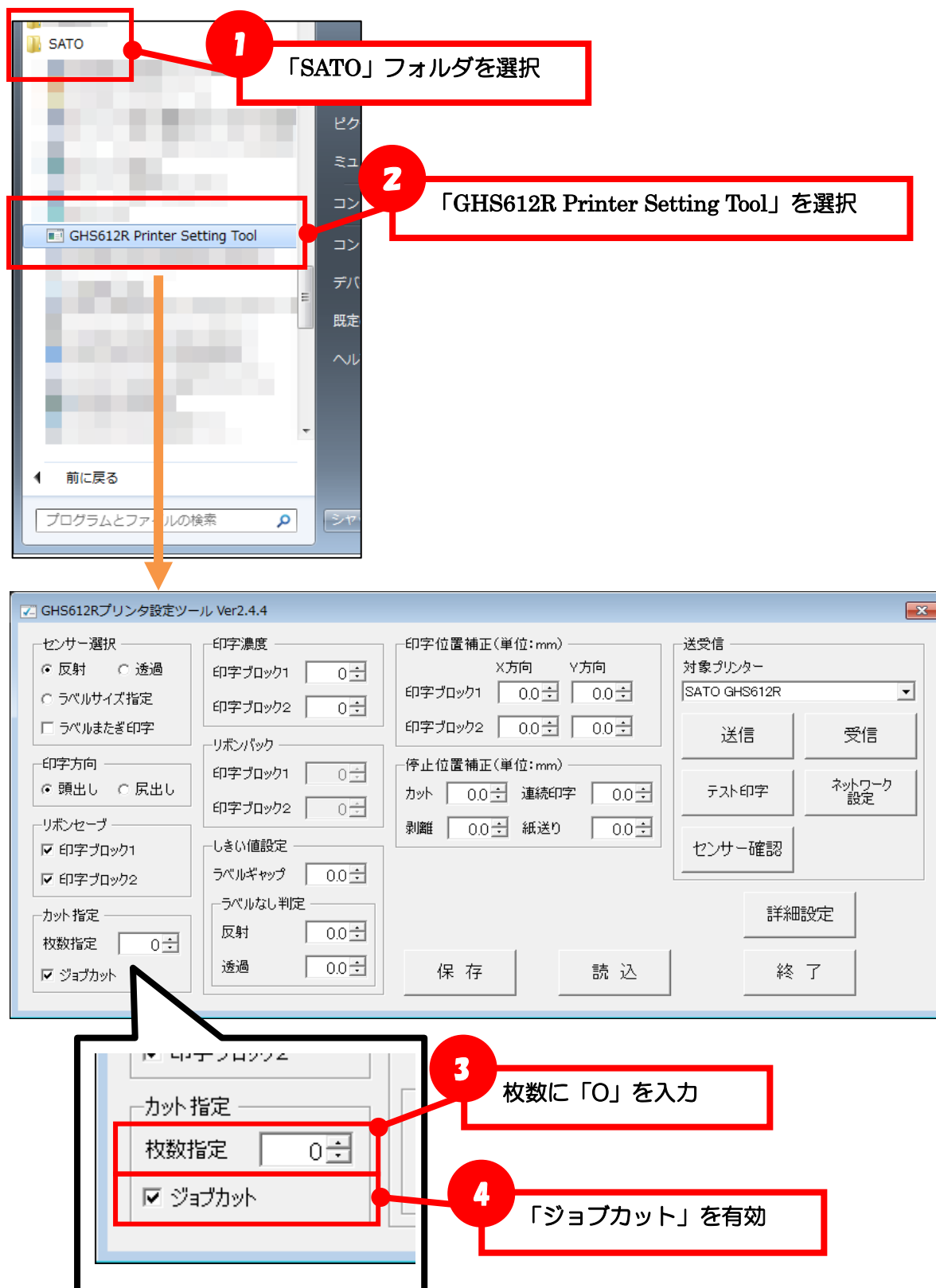
「すべてのプログラム」で「SATO」フォルダの「GHS612R Printer Setting Tool」を選択します。



## ■発行指示毎にカットする

プリンタ設定ツールでカット動作を設定します。

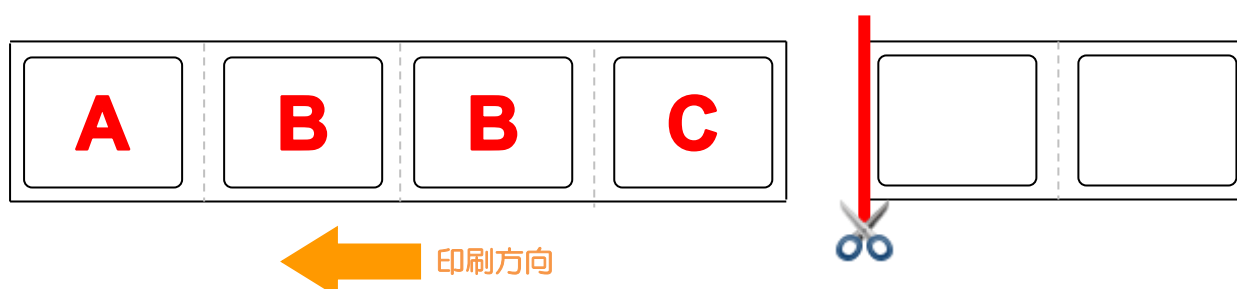
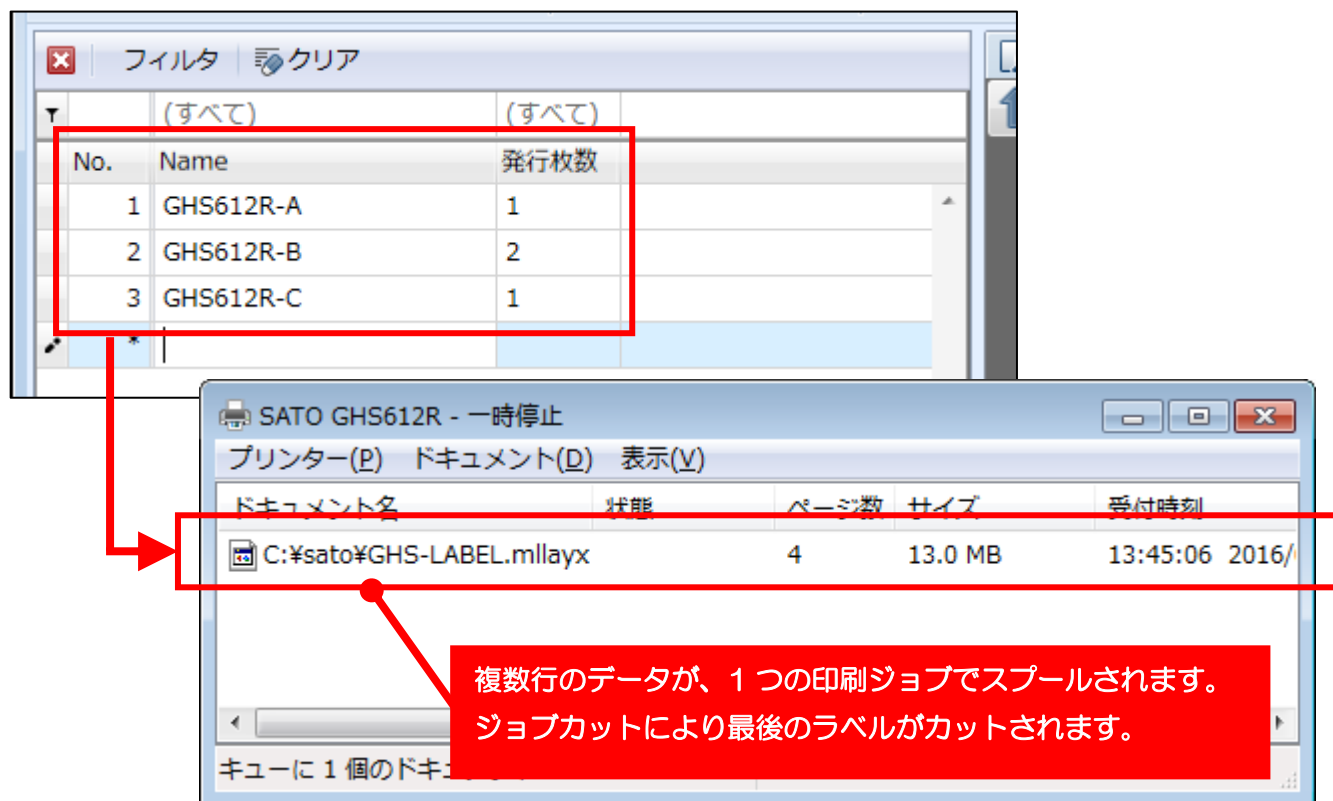
「すべてのプログラム」で「SATO」フォルダの「GHS612R Printer Setting Tool」を選択します。



ML デザインまたは ML プリントで発行時動作を設定します。



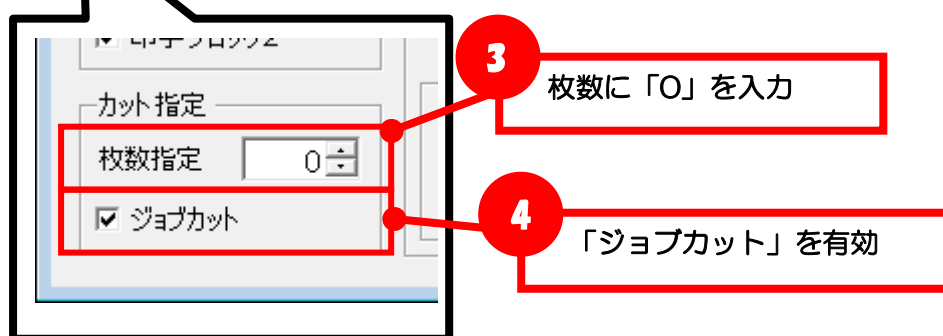
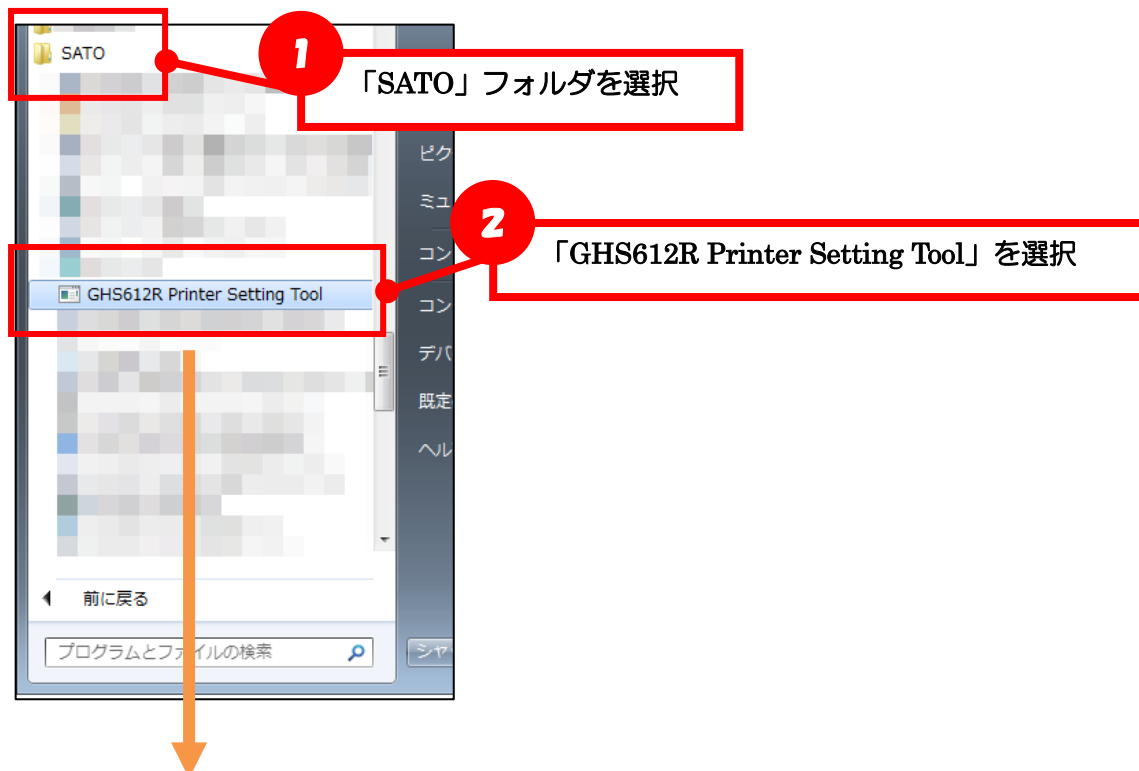
ML プリントでラベル発行すると、発行指示したデータの末尾でカットが行われます。



## ■行毎にカットする

プリンタ設定ツールでカット動作を設定します。

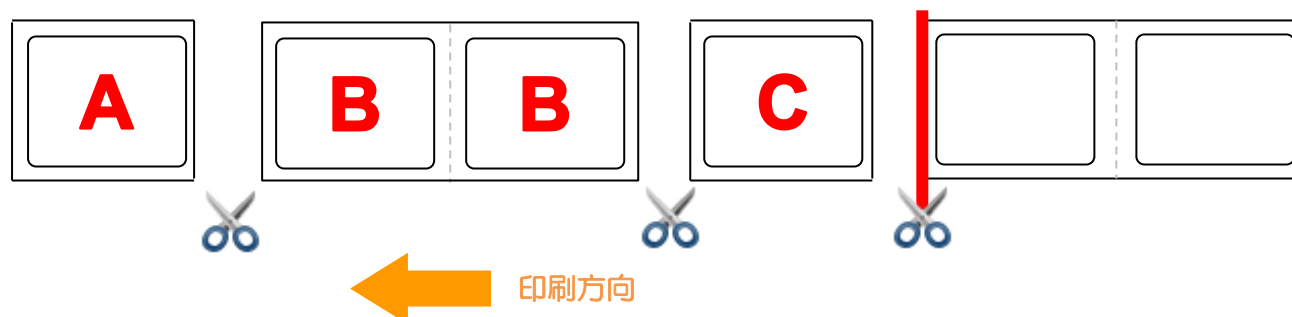
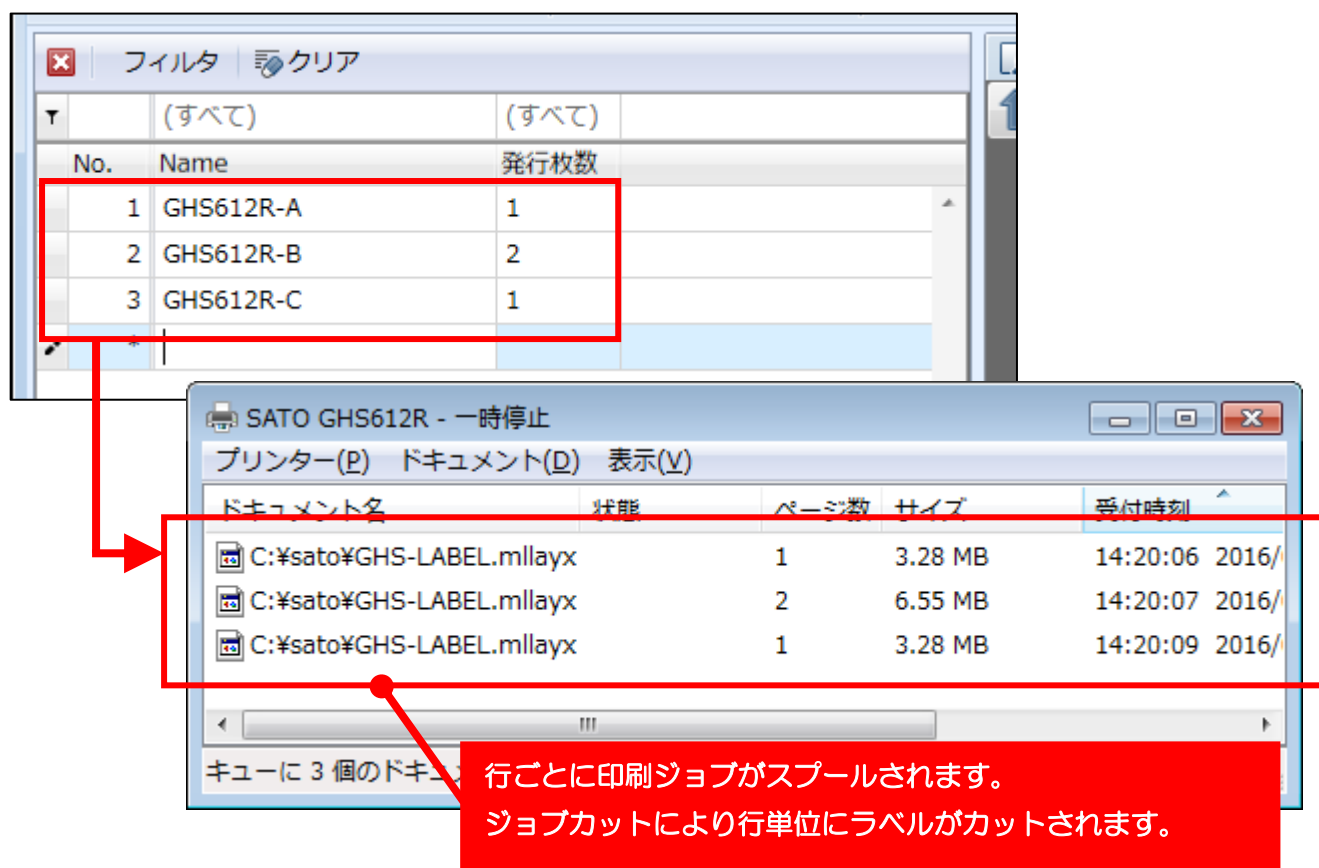
「すべてのプログラム」で「SATO」フォルダの「GHS612R Printer Setting Tool」を選択します。



ML デザインまたは ML プリントで発行時動作を設定します。



ML プリントでラベル発行すると、行単位にカットが行われます。



## 2-4

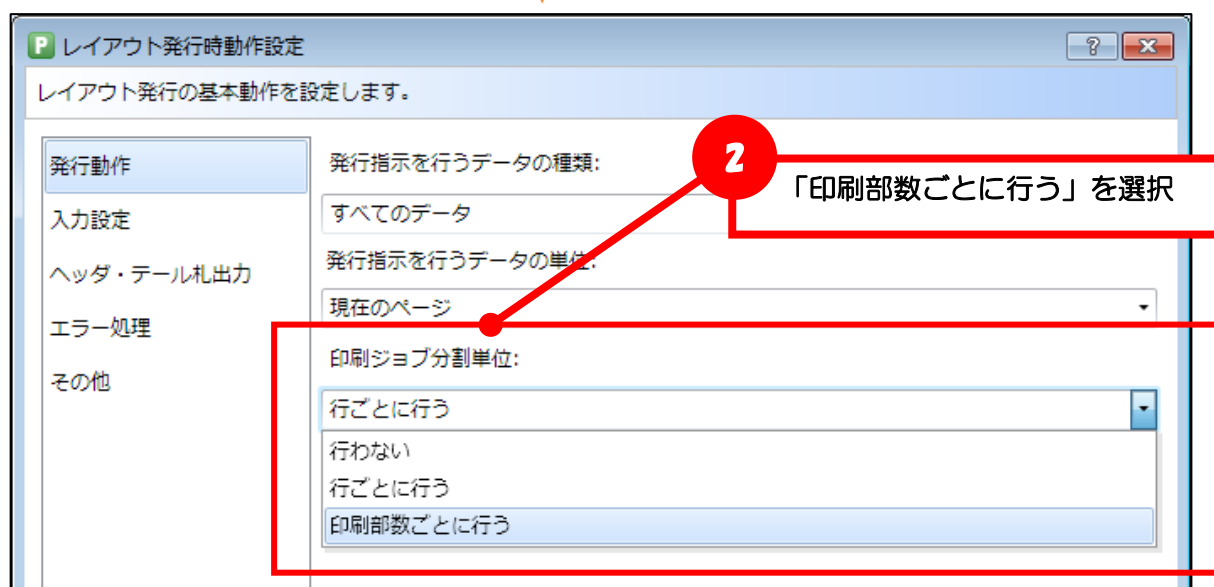
## 同一ラベルの発行を印刷部数機能で速くする

## ■印刷部数

ご利用プリンタ機種のプリンタドライバが印刷部数機能に対応している場合は、同一ラベルの発行を速くすることが可能です。（連番使用時は除きます。）

## ■印刷部数機能を利用する

ML デザインまたは ML プリントで発行時動作を設定します。





ML プリントでラベル発行すると、行毎にデータ（印刷ジョブ）が分かれ、ページ数はそれぞれ 1 ページで出力されます。

フィルター クリア

No.	Name	発行枚数
1	GHS612R-A	1
2	GHS612R-B	2
3	GHS612R-C	3

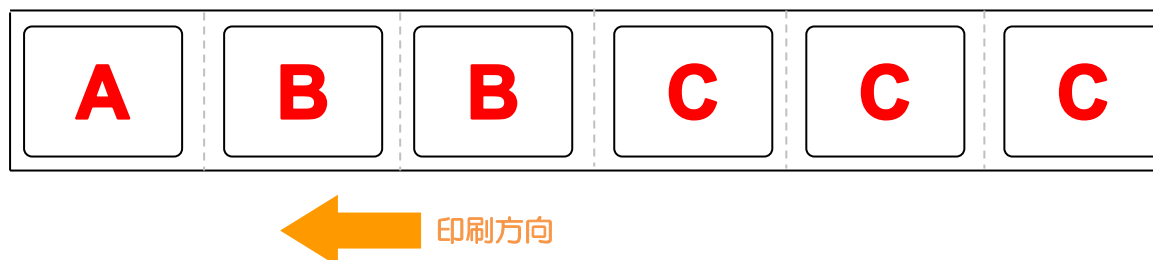
SATO GHS612R - 一時停止

プリンター(P) ドキュメント(D) 表示(V)

ドキュメント名	状態	ページ数	サイズ	受付時刻
C:\sato\GHS-LABEL.mllayx		1	3.73 MB	15:53:00 2017/0
C:\sato\GHS-LABEL.mllayx		1	3.73 MB	15:52:56 2017/0
C:\sato\GHS-LABEL.mllayx		1	3.73 MB	15:52:52 2017/0

キューに 3 個のドキュメントがあります

複数行のデータが、行ごとに印刷ジョブでスプールされます。発行枚数によらず常に 1 ページで出力されますが、プリンタドライバの印刷部数機能で指定した枚数で発行されます。



## 2-5

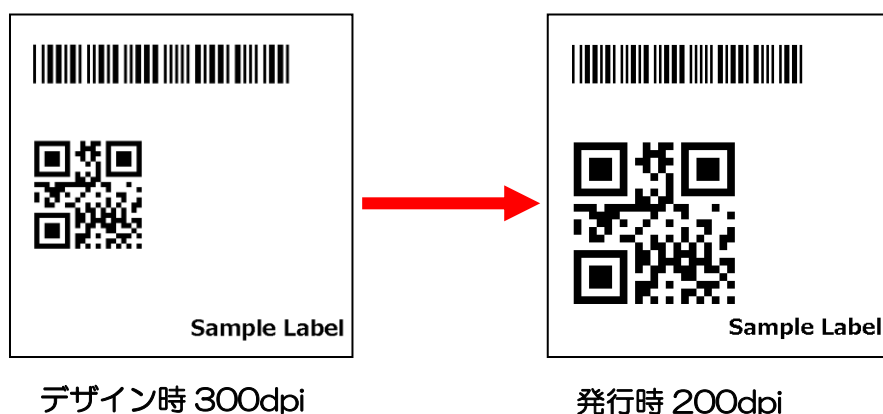
## 注意事項

## ■発行時のプリンタ機種変更

## ■発行時のプリンタ機種変更

ML デザインでレイアウト作成時に指定したプリンタ機種と、発行時に設定した出力先（プリンタドライバ）の解像度が異なる場合に、シンボル（バーコードや 2 次元コード）のサイズが変わってしまいます。複数のプリンタ機種を利用する場合は、それぞれのプリンタ機種用にレイアウトファイルを作成してください。

下記のイメージ例では、発行時に解像度が異なることで、JAN コードの幅と QR コードのセルサイズが異なっております。



## ■グラフィックの色情報（GHS612R）

GHS612R は、赤と黒の印字を設定ツールで設定した色情報を閾値として判断するため、レイアウトに取り込むグラフィックは色情報が明確になるように作成してください。

## 設定ツールの抽出カラー設定



上記の設定では、RGB の R（赤）が 0~99 の場合は印字ブロック 1、R（赤）が 100~255 の場合は印字ブロック 2 に装着されたリボンで印字されます。

